

授業科目名 (英訳)	国際経済学(新興国への応用) International Economics: Applications to Emerging and Developing Economies				担当者所属 職名・氏名	総合生存学館 教授・IALNAZOV, Dimiter Savov					
配当学年	1 回生	単位数	2	開講年度 開講期	H27 前期	曜時間	水/2	授業形態	講義	使用言語	英語
〔授業の概要・目的〕											
<p>この授業は、国際経済学に関する学部レベルの知識を前提として、対話形式の授業を取り入れながら、国際貿易、国際資本移動、為替相場制度、国際収支等に関する理論や実践を考察し、今後の世界経済の動向を見据える上で重要な東ヨーロッパ、中南米、東アジア等さまざまな新興国および発展途上国の政策課題の分析を行う能力の育成を目標としている。特に、1990年代初期以降、経済のグローバル化がもたらす問題に対して各国がどのように対処してきたのか、その答えを討論や講義を交えて探求する。さらに、過去の金融危機にも注目し、1980年代以降、新興国および発展途上国で発生した金融危機の類似点と相違点も検討する。学期末までに、受講生が国際経済学、新興国および発展途上国に関して得た知識を応用して、国別事例分析および諸国間の比較、またはそのいずれかを行えることを想定している。最後の2回の授業では、受講生が各自の期末レポートの要点を発表し、ディスカッションを行う。</p>											
〔到達目標〕											
新興国および発展途上国における国際経済学関連の政策課題を分析する能力を習得できる。											
〔授業計画と内容〕											
<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業についての説明 2. 国際貿易理論（国際貿易の利益に関する理論（リカードモデル、ヘクシャー・オリーンモデル）、幼稚産業論、近年における国際貿易理論の展開） 3. 国際貿易政策（関税および非関税障壁の効果、発展途上国における輸入代替工業化の評価、WTO体制下に使われている貿易政策手段） 4. 国際収支（経常収支、資本収支、外貨準備、対外資産負債残高、経常収支不均衡と貯蓄・投資との関係、経常収支不均衡の諸問題） 5. 外国為替レートの決定要因に関する理論（金利平価説、インフレ率とテイラー・ルール、某国経済のファンダメンタルズ、購買力平価説、通貨の割安・割高度） 6. 為替相場制度Ⅰ（固定相場制の理論と歴史、金本位制、ブレトン・ウッズ体制、固定相場制下の金融・財政政策の有効性） 7. 為替相場制度Ⅱ（変動相場制の理論と歴史、ブレトン・ウッズ体制崩壊以後の変動相場制、変動相場制下の金融・財政政策の有効性） 8. 国際資本移動（国際資本移動の利益に関する理論、国際資本移動の諸形態：FDI、証券投資、銀行によるクロスボーダー融資、海外送金、国際資本移動がもたらす問題） 9. 金融危機の原因と歴史Ⅰ（ポール・クルーグマンによる金融危機原因の説明、「原罪」(originalsin)仮説、1980年代にラテンアメリカで発生した金融危機） 10. 金融危機の原因と歴史Ⅱ（1990年代初期～2000年代初期にメキシコ、東アジア諸国、ロシア、トルコ、およびアルゼンチンで発生した金融危機） 11. 中間評価 12. 新興国のグローバル経済への包摂形態Ⅰ（東ヨーロッパ、ラテンアメリカ、および東アジアから選んだ2カ国のケース・スタディ） 13. 新興国のグローバル経済への包摂形態Ⅱ（東ヨーロッパ、ラテンアメリカ、および東アジアから選んだ2カ国のケース・スタディ） 14. 期末レポートに関する受講生の発表 15. 期末レポートに関する受講生の発表 											
〔履修要件〕											
英語でコミュニケーションできる能力、及び英語で書かれた学術的な文書を読解する能力が必要である。経済学の知識がなくても受講できる。											

[成績評価の方法・観点及び達成度]

以下の基準により成績評価を行う。

1. 出席率、討論への参加、授業課題の提出：50%
2. 期末レポートの質と発表：50%

4回以上授業を欠席した場合、単位を認めない。

[教科書]

P. Krugman and M. Obstfeld (2009), *International Economics*, 8th edition, Addison-Wesley.

[参考書等]

C. Reinhart and K. Rogoff (2009), *This Time Is Different*, Princeton University Press.

授業開始後に追加の参考資料を紹介する。

[授業外学習（予習・復習）等]

授業前に予習すべきことは口頭で説明する。

[その他（オフィスアワー等）]

この講義は基本的に英語で行うが、受講生の英語コミュニケーション能力により日本語も使うことがある。また、この講義についての問い合わせは日本語でも受け付ける。

面談を希望している受講生は、(1) 名前、学籍番号、所属；(2) 可能な面談日時（第3希望まで）を書いて ialnazov@econ.kyoto-u.ac.jp にメールをください。なお、私の履歴、教育や研究活動について知りたい方は、<http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/~ialnazov/> を参照してください。

講義のスライド、討論用の課題、レポートの要件等は、<http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/~ialnazov/> からダウンロードできる。